



カレンダー

月	日	曜日	作業内容・備考
3	2	土	丸紅の森
	3	日	道なき道あるき P2 参照
	5	火	自然観察会（植物）
	7	木	運営会議
	8	金	丘陵アドプト・カナエ
	9	土	桜台(常磐)地区子ども工作教室① ・フクロウ・ムササビチーム
	10	日	定例活動日（豚汁）
	12	火	自然観察会（鳥）
	13	水	水辺チーム
	16	土	丘陵の森（きしわだ里山まつり準備）
	17	日	里山まつり in 神於山 P2~3 参照 ・丘陵アドプト・アストラゼネカ
	18	月	クラフト勉強会
	20	水	定例活動日
	22	金	丘陵アドプト・カナエ
	23	土	定例活動日
	24	日	桜を楽しむ自然観察会 ・里山えんぴつ
	26	火	自然観察会（植物）
	28	木	臨時運営会議
	30	土	丘陵アドプト・アストラゼネカ花見（神於山にて）
	31	日	まち協タケノコ掘り（予備日4/7）
4	2	火	自然観察会（鳥）
	5	金	丘陵アドプト・平田タイル（新人研修）
	6	土	丸紅の森 ・丘陵アドプト・平田タイル（タケノコ掘り）
	7	日	ただただ花見 P4 参照
	9	火	自然観察会（植物）
	10	水	水辺チーム
	11	木	運営会議
	13	土	フクロウ・ムササビチーム
	14	日	定例活動日（山菜てんぷら） P4 参照 ・里山えんぴつ
	15	月	クラフト勉強会
	16	火	自然観察会（鳥）
	17	水	定例活動日
	20	土	丘陵の森
	26	金	丘陵アドプト・カナエ
	27	土	定例活動日 ・JAフレッシュミズ P4 参照
	28	日	里山えんぴつ
5	4	土	丸紅の森 ・里山えんぴつ
	7	火	自然観察会（鳥）
	8	水	水辺チーム
	9	木	運営会議
	10	金	丘陵アドプト・カナエ
	11	土	桜台(常磐)地区子ども工作教室① ・フクロウ・ムササビチーム
	12	日	定例活動日

（少し先になりますが） 今年も総会を予定しています

日時 : 5月25日（土）PM1:30~（AMは作業をします）

場所 : 神於山・作業小屋前広場（雨天の時：愛彩ランド学びの体験交流館を予定）

3・4月の作業予定

作業小屋の拡張工事が完成したことで、本来の森の整備作業を重点的に進めて行きます。2月の「トンド焼き」は天候を配慮して延期しました。購入したチップパーを活用して、伐採・枯木を処理し、1度の「トンド焼き」で済ませる計画です。

「まごの森」「源流の森」「修斉の森」を含めた山頂の再整備を早急に行います。また、3号園路沿いのササユリエリアのネザサ刈り、林道の溝掃除・土留め補修等多くの手入箇所があります。2・4・5号園路を点検して必要な補修等を行います。

さらに、くらぶとして大きな行事となる3月17日の「きしわだ里山まつり」への多くの方の参加を重ねてお願い致します。

「丸紅の森」については、3月は管理竹林周りを、4月は管理車道下を行う予定です。

3～4月のイベント・体験活動

□ 3月3日(日)「道なき道あるき」

意賀美神社から“とにかく東に向かって歩く”というテーマです。

そして、大きな取り組みは…↓

□ 3月17日(日) 里山まつり in 神於山です。

10時から15時まで、**愛彩ランド会場**と**神於山会場**の2カ所で開催されます。【P3案内図参照】

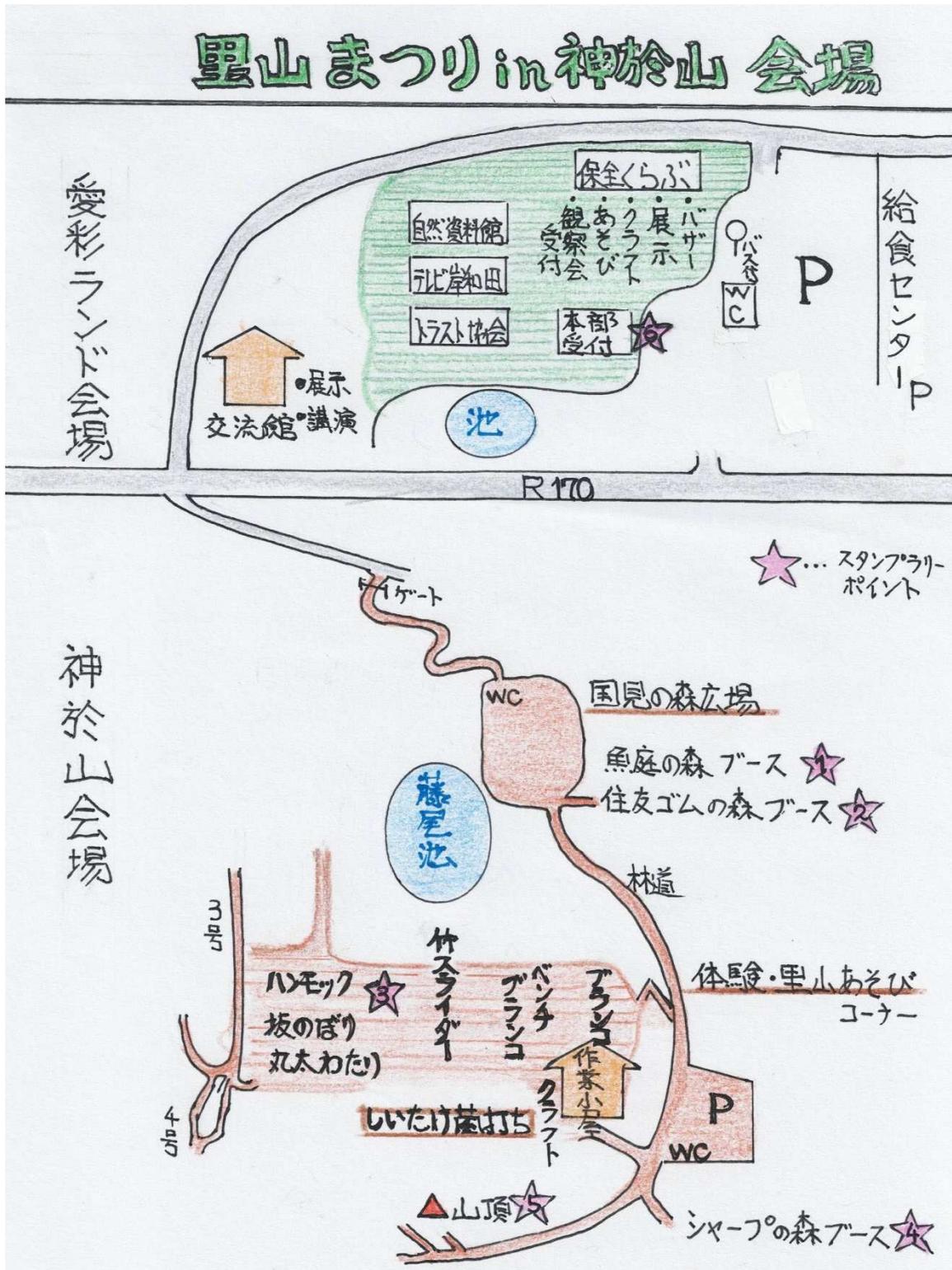
☆ 愛彩ランド会場では「いこいの広場(芝生広場)」にて

- ・本部 (スタンプラリーポイント⑥)
- ・JA いずみの (スタンプラリー・ゴール景品提供)
- ・テレビ岸和田 (神於山の紹介・過去の映像放映)
- ・自然資料館 (チリメンモンスターさがし)
- ・トラスト協会 (パネル展示)
- ・神於山保全くらぶ
 - ・展示
 - ・バザー
 - ・遊び
 - ・クラフト
 - ・観察会受付
 - ・お茶試飲 (ササ茶・ビワ茶)
- ・『楽しい学びの体験交流館』にて
 - ・パネル展示・木の切り株展示 (自然資料館)
 - 20年の取り組み
 - ・14:00から講演会 “湯本貴和先生の『神於山から見る生物多様生』”

☆ 神於山会場では

- ・国見の森広場
 - ・魚庭の森 展示 (スタンプラリーポイント①)
 - ・住友ゴムの森 苗木の無料配布 (スタンプラリーポイント②)
- ・作業小屋広場
 - ・府 木片ぴったりゲーム
 - ・神於山全くらぶの里山あそび
 - ・1本ブランコ
 - ・ベンチブランコ
 - ・竹レールそり
 - ・竹ハンモック
 - ・坂のぼり
 - ・丸太わたり
 - ・体験活動 “しいたけの菌打ち” 体験 (スタンプラリーポイント③)

- ・シャープの森広場
- ・生きもの映像放映
- ・竹の巣箱づくり (スタンプラリーポイント④)
- ・山頂 (スタンプラリーポイント⑤)



前日、3月16日(土)に準備(丘陵の森活動ですが、準備に集中します)9:30作業小屋
 当日、8時30分に愛彩ランドバス停集合

- ・愛彩ランド担当は、給食センターに車をおき準備
- ・神於山担当は最少の車で入山、小駐車場におき準備

当日まで予定が立たない方も、都合がつけばぜひ応援お願いします。

□ 4月7日(日) "ただただ花見の日"

おそらく桜は終わっていると思いますが、春の雰囲気を感じたいと思います。のんびりしつつも、コバノミツバツジ開花状況調べで、エリアを回ります。

□ 4月14日(日) "山菜天ぷらの日"

今年はどうな山菜が味わえるでしょうか！食器をお忘れ無いように…

□ 4月27日(土) JAいずみのフレッシュミズ体験活動

定例活動日ですが、JAいずみのフレッシュミズの皆さんが体験活動に入山されます。内容はこれから決めていきます。

丘陵地区での動き

○アドプト活動は ・カナエさんが1月12日・26日、2月9日と活動し、ようやくコロナ前に近づいて来ました。

・アストラさんは2月17日に活動(1月21日は雨天中止)

○丘陵の森活動は ・1月20日は植栽地の草刈(雨の中)、2月17日はフラの会(アロハアポイ)の2名の参加を得、アストラサポートと、草刈に分れて活動しました。

○3月・4月の予定は

- | | | |
|---------|------------|----------------------------------|
| ・アドプト活動 | ・カナエさん | 3/8・3/22・4/26 |
| | ・平田タイルさん | 4/5(新人研修) 4/6(タケノコ掘り) |
| | ・アストラゼネカさん | 3/17(PM里山まつり参加) 3/30(神於山花見) 4月未定 |
| | ・新アドプト企業 | 3月下旬頃から活動開始予定(場所、旧住友ファーマ) |
| ・丘陵イベント | ・タケノコ掘 | 3月31日(保全くらぶ"焼きタケノコ"準備) |
| | ・次の"竹まつり"は | 来年3月に予定 |

1・2月の活動(作業)

年初の活動が6日の「丸紅の森」で、多くの会員の方が参加された山開きの定例活動日が14日の中旬になりました。活動日での会員の方のハツラツとした姿に接し、今年も元気で、楽しく活動ができることと確信するとともに、皆さんのくらぶ活動への熱意に感謝しています。

● 定例活動

・1月14日(日)

例年とおりに理事長、年男・年女での「四方拝」にならい参加者全員で、今年の安全を祈願し、その後エリア巡回をして山開きとしました。作業は、作業小屋拡張部の屋根板と側板をほぼ張り終えました。シイタケの菌打ちを行い、53本楢木を完成させました。

炭焼きチームは今年最初の炭焼きに向けて、窯内の炭入れ替えを行いました。また、草広場及びしばらく手入れをしていなかった見晴台の草刈も行いました。

昼食時には、「ぜんざい」がふるまわれ、49名の参加者と相まってにぎやかな1日でした。チップパーを皆さんに披露すべく午後の作業前にデモ運転をしました【写真-1】。

・1月17日（水）（旧平日活動日）

作業小屋拡張部を完成させ、購入チップパーを収納することができました。併せて壁面を道具整理棚とすることで、小屋内の道具の取り出しが容易になります。小駐車場及び林道から作業小屋への坂道の高木・ネザサに絡まっているクズを取り除きました。

・1月27日（土）

林道～藤尾池・草広場の間のネザサ刈りとツル取りを行いました。ネザサ刈りは比較的スムーズにできましたが、高木に絡んだツルは大変で、2・3人で声を合わせて引っ張りますが、途中で切れて尻餅！です。栗林の枝打ちもし、トンド焼きに向けて林内の枯れ枝と共に集積しました。また、以前、自然資料館よりの年輪調査依頼で切断したスギの切株について、年輪の輪切りサンプルが再度入用とのことで、両手引き鋸で切り取りました。数人で行ったところ、なかなか進まない（息切れ）ので、若手？を急遽呼び集め切り取ることができました。【写真-2】。

炭焼チームは早朝より火入れをしました。昼食後の「ミニ講座」はM氏のツリーイングで、数人がトライし、苦勞して少し上がると歓声があがりました【写真-3】。



写真-1



写真-2



写真-3

・2月11日（日）

前回の続きで、林道～藤尾池・草広場のツル取りを行いました。藤尾池畔のツバキ・サクラに絡まったツルをほぼ取り除けてスッキリしました。ネザサの中に投棄ゴミが見つかったので、集積して後日市役所にて処理願いました。軽トラックの投棄もありますが、これの処理は市の方での検討とのことです。栗林の全てのクリに施肥をしました。トンド焼きに向けて、例年通りに作業小屋東の一本スギ近くと、藤尾池畔の2ヶ所に穴を掘りました【写真-4・P6へ】。

・2月21日（水）（旧平日活動日）

朝からの雨模様で参加者が少なかったため、作業小屋北側の以前拡張ところの入口の壁板張りとは25日のマッチングマーケット体験用の竹積みを作りました。竹積みは切断面の角度を大きくし、2方向にしたため、チョット難しくなったので、角度の浅い簡易なものとの2種類を準備しました。

・2月24日（土）

トンド焼きを計画していましたが、前日の雨で焼却物が濡れたことから延期し、代わってチップパーでの処理としました（午後よりチップパー不調で、納入業者に調査の来場願い指導を受け、解決して次回の運転に問題なしです）。また、次回の焼却処理のために伐採木、倒・枯木を集積しました。3号園路入口の池堤の枯草刈りを行い、キャベツ・ゼラニウムを差し入れを頂きました。また、3月17日の「里山まつり」バザー用の炭籠の準備をしました。

● 丸紅の森活動

・1月6日（土）

24年度の作業初めとなったこの日は、新エリアの竹切りと、管理竹林内のササユリエリアの日照確保の竹切りを行いました。新エリアの竹切りは随分と進み、脆い土の露出部が多く滑りやすく、踏ん張っての難しい作業となりました【写真-5】。高木、枯れ木に絡まっているツル取りも併せて行いました。

・2月3日（土）

昨年の丸紅社員の活動時に、伐採した管理車道下のコナラの木を炭材にすべく切断・運搬しました。チップパーを管理竹林に運び入れ、集積している伐採竹を粉砕しました。竹林東側の柵が傷んでいたもので、やり替えました【写真-6】。前回に続き、ササユリエリアの日照確保のために竹の伐採も行いました。エリアの陽当りは確保できました。



写真-4



写真-5



写真-6

● ミニ研修会

1月には、村瀬さんによるツリーイングの実演と、希望者の体験を行いました。数名の方が体験をしましたが、思うようにスルスルとは登れず、苦戦する人もありながら、貴重な体験となりました。

2月には、上林より、ごみについて話しました。興徳クリーナーさんも参加して下さっていたので、専門的な立場から、処理方法や分別の意味についてのお話も聞くことができました。土に還らないものの使用について、みんなで使い方や代替策について意見を出し合っていければと思います。

それ以前に、自分で出したごみは、各自持ち帰りましょう！そして、活動で出たごみも、極力手分けして持って帰るようにしましょう！！（上林）



活動の様子

◇住友ゴム CSR 基金活動

山頂の「まごの森」「源流の森」「修斉の森」及び4号園路ぞいの春木川源流部を整備してきました。

山頂部はかなり展望が開けていますが、パノラマ図に見合うように、まごの森も含めもうひと頑張りする必要があります。しかし活動の時間があまりとれず、そこに関わっている各団体も活動回数が少なくなっています。

反対に4号園路を利用するハイカーが多くなっています。引き続きこのあたりの整備をしていきたいです。

そこで住友ゴム基金助成を来年度も申請しているところです。今年度助成金は主に杭、のこぎり、チップパーの一部に支出しています。

（杉原）

◇ マatchingマーケット 2月25日（日）

昨年に続き、浪切ホールで行われました。午前中は展示に加えて竹や木のパズル、竹積みの体験をしました。

やり出したら時間を忘れて没頭する人が多く、楽しんでもらえたと思います。午後からは、参加団体の発表後あらかじめ分けられていたグループに分かれて交流会がありました。

出前講座の依頼や、活動に興味を持って入会や参加を希望される方もいて、少しでも今後につながればいいなと思います。

（上林）

◇ 子ども工作教室（桜台市民センター）1月13日（土）2月10日（土）

- ・ 年初めの1月は和風と書初めです。和風は竹ひごを組み合わせ、和紙を貼ります。
子どもたちに難しかったのはひごをタコ糸でしばる事です。今はワンタッチでくっつけたりすることが多いのでいい体験になったと思います。（かなり手伝いが必要でしたが）出来上がった風にな色付けをする段になるとがぜん張り切りました。
絵柄は富士山や干支の辰が多かったです。意外と古風なデザインにびっくり。扇風機を使い風あげにトライするのですが、バランスをとるのがむずかしかった。（これは指導者の技量不足といえる）続いてマイ竹筆をつくります。公民館に許可をもらい、音を気にしながらカンカンと金づちで筆づくり。うまくできました。書初めもして新年行事の体験でした。
- ・ 2月は割りばしで飾り棚です。根気よく順序を間違えずに5段まで組み立てます。
底をしっかりと固定しておかないと完成した時に自立しないのですが、単純作業だけに子どもは飽きてくるのです。
それが終わるといろいろな模様の紙を貼り、飾り棚の雰囲気を作ります。紙の使い方は自由なのでその子の個性が出ておもしろいです。シンプルに仕上げる子、カラフルや和風調や又は紙を破ってちぎり絵風にしたりと、子どもは柔軟です。ドングリやフウの実を棚に飾ってあげました。（杉原）

◇ 神於山ハイキング⑫ 2月18日

- 2回雨で中止となり、ようやく実施できました。まずまずのお天気で、26名の参加でした。
会員の他、その友達、その紹介、そしてファミリーとその友人（外国の方も）と、年齢も幼児さんから80才台までと、いろいろな方が参加されたパーティーとなりました。
9時半出発、愛彩ランドから外周路、回向岩コースへ入り林道へ…。住友ゴム下のぬかるみで少し手間取りました。東尾根コースを国見台、山頂近くを通り、丸紅の森へ。更に“ころも岩”まで行き、尾根道を登り、返して丸紅へ戻り昼食。
12時半、のんびりグループと、西山グループに分かれて出発。西山グループは、大谷を下り、北阪近くから一気に西山へ登る。そして、林道、布引山、山頂とまわって作業小屋へ、のんびりグループと合流しました。そのあとまた、いくつかのグループに分れ下山。愛彩ランドに15時すぎに戻りました。
久しぶりにゆったりと歩きました。次回は少しおもしろいコースを考えます。（田口）

チーム活動報告

●シイタケ・栗林・竹林チーム

シイタケ櫓木52本の菌打ちを完了することができました。
栗林のクリの木すべてに施肥しました。今年の肥料は自然に配慮した鶏糞と油かすとしました。
秋の収穫量で、施肥の種類、量を再検討します。
施肥の上に林内で発酵させた腐葉土で覆いました。
また、林内の落ち葉を集め腐葉土作成ボックスに投入し、次の腐葉土の準備をしました。（井阪）



● 植物・鳥チーム

昨年（2023年）冬、植物・鳥チームの今後について話し合った結果は、以下のとおり。

- ① チームは二つに分けないで、今まで通り「植物・鳥チーム」とする。
- ② 活動は、2024年4月から毎週火曜日とし、
第1と第3週は、鳥中心の活動
第2と第4週は、植物中心の活動とする。
第5週は活動しない。
なお、植物、鳥以外の生物観察は、常時行う。
また、気温の高い真夏や忙しい12月は、臨機応変に対応する。
集合は従来通り、午前9時、愛彩ランド自転車置き場
- ③ 日曜観察会は継続し、A 桜を楽しむ自然観察会 B 紅葉を楽しむ自然観察会を開催する。
日程は、決まり次第ポスターなどで知らせる。
- ④ 雨天中止とするが、午前6:55頃のNHK天気予報で降水確率が午前60%以上は活動中止。
連絡をしないので、自己判断にゆだねる。
- ⑤ 2024年度の活動目標は、
*植物は植物観察、名札付け、地図記入、希少植物の保護など
*鳥は、識別能力を高めるために、神於山周辺も時々観察する。
- ⑥ お便りの原稿執筆などは、その都度決める。 (山根)

鳥観察



神於山に、初めて珍しい冬鳥ヒレンジャクが、大群で渡来しました。特徴は頭に先端がとがった冠羽、目の周りには歌舞伎役者の様な隈取、喉は黒く顔は赤みを帯びて、尾羽の先が赤色です。熟した柿を群れでついばんでいる様子は、今食べなきゃと競争している様で、裸木で数羽が並んで羽休めしている姿は、とても愛らしい。そしてヒレンジャクの撮影の為、毎日沢山のカメラマンが国見の広場に集まっていた。年明けには、ツグミの群れも度々見られました。(報告 里山のナデシコ)



● 水辺チーム

1、2月の活動は、まず、11、12月に引き続き4号園路沿いの川の整備を行いました。園路途中で竹が繁茂して気になるところがあったので、その竹の伐採も行いました。以前手を入れてそのままになってしまっていた砂防ダム上の荒れたところも、カギカズラと竹の処理を主に行いました。4号園路も砂防ダム上も、タゴガエルやシュレーゲルアオガエル、アカハライモリなどにとって快適な空間になったのかはわかりませんが、今後の動向を見守りたいです。(上林)

● フクロウ・ムササビチーム

子供の頃、近所の田畑や雑木林で虫や小さな生き物を追っかけて遊んでました。そんな軽い気持ちでフクロウ・ムササビチームの活動に昨年9月から参加してたんですが、1月13日にいきなりチームリーダーを任されました。

えーなんの知識もない私にできるの？ 保全くらぶに入会して日も浅くどうしたものかと悩んでました。

2月10日の活動日 だれも来なければ辞めようと思え作業小屋へ行くと3名の方の参加があり嬉しかったです。

乗りかかった舟 どんな成果が上がるのかわかりませんが頑張ってみます。

今、ムササビの巣箱は藤尾池堤から泣石谷に少し下ったところに1つ、堤から西方向の林の中に3つの、ウキウキ桜横の道沿いに3つ、栗園の金網フェンス右側を上がって登り切った辺りに1つ、タゴガエルとクスノキ広場の間に1つの計9つ設置してます。

フクロウの巣箱は、作業小屋からトイレに登る道の間辺りの右側の林に1つあります。全部パトロールしましたが食べかす、糞などの痕跡は確認されませんでした。

夜行性で警戒心の強い動物。目視はなかなか難しいので次回トレイルカメラ設置予定です。観察は樹木の根元でも可能です。

植物観察等の会員さん方、定例活動の合間にでも巣箱を見て 何かしらの情報を頂けると嬉しいのでよろしく願いいたします。

それとテレビの番組宣伝するつもりはないんですが、野生のムササビがやってくる幼稚園として東京の八王子にある「東京ゆりかご幼稚園」が紹介されてました。

これから暖かくなって動物たちの動きも活発化してきます。ひょっとしたら神於山でも可愛い姿がれるかもしれません。(辻野)

● 炭焼チーム

今シーズン遅れていた炭焼きを開始しました。1月・2月と二回の火入れを行い、いい炭ができています。定例活動日以外に特別活動を半日、参加可能なメンバーで作業を進めました。

2月の火入れの時には、アドプト活動をされている興徳クリーナーさん(2名)が炭焼きの見学に来られ、炭焼きの勉強と作業の手伝いをして頂きました。炭焼きの仲間が広がってくると嬉しいです。

- 【活動報告】 1/14(日) 窯の入れ替えと伐採(3本)。取り出した炭の量は少なかったが、質のいい炭が出来ていた
- 1/20(土) 【特別活動】炭窯入口のレンガを積む作業(午前中)
- 1/27(土) 8時集合、火入れ。次回の炭材の準備。窯の温度が安定するのに15時半頃までかかった
- 2/11(日) 窯の入れ替え。皮付きのしっかりした菊炭が出来ていた。
- 2/24(土) 8時集合、火入れ。昼過ぎには温度が安定した(伐
- 【活動予定】 3月・4月 ・今シーズンもう一回黒炭を焼き、その次は久しぶりに竹炭を焼く予定(村瀬)

● クラフト勉強会

1月は午前中に杉板を使ったコースターを作りました。 スギの板を各自好きな形に切り真ん中付近にコップなどを立てるための'くぼみ'をトリマーという電動道具で削り出し最後に趣を出す為にバーナーで軽く焼き焦げ目をつけるだけです。 しかし一枚板を切り削り形らしき物にするのは中々に *** ものでした。 私はポーとした 'マンポー'らしきものを作りひとり悦にしております。 午後は作業小屋の入り口右側の壁に竹を丸ごと貼り付けいい雰囲気になったと思っています。

2月は3月の里山まつりバザーに並べる物としてジグゾーパズルを作りました。 桜の枝を薄く輪切りにして、これを手のこで細切れにしパズルにしました。説明するのは難しいので皆さん来て見てください。 これ以外には炭チーム自慢の菊炭とかも用意しました。

(まつだ)

「里山えんぴつ」だより

1月28日(日) 晴れ

この日は朝からいつもの竹林整備(竹伐採など)。少しずつ竹林に覆い隠されていたクスノキなどの木々が見えるようになってきました。

昼休憩にはみんなでワイワイとしゃべりながら「ぜんざい」をいただきました。

冬の寒空でいただく「ぜんざい」は普通に食べるより美味しさ倍増でした。

普段子ども達は街中の舗装された道しか歩いていないので、斜面で踏ん張りながら竹を切ったりするのは大変そうですが、自分たちが活動拠点(岸里の森)を作り上げていることから、誇らしげに楽しく活動していますし、なにより大人の私が一番楽しませていただいています。いつも企画、準備していただいている方々には感謝しかありません。

これからも自然の中で生かしてもらっていることを親子で感じながら、「次は何ができるかな?何が起こるかな?」とワクワクしながら参加させていただこうと思います。

竹内(父)



森のためになっている竹切りはやりがいがあるし、笹のトランポリンとか竹のブランコが楽しいです!

康介(小5) 千尋(小3)



今月号から「里山えんぴつ岸城の森」の様子を
メンバーさんからお伝えいただくことになりました。

神於山と私

辻野 新一

過去、高校山岳部、社会人山岳会に15年在籍していましたが、今はソロでのんびり近郊の山を登ってます。地元の神於山のことはまったく知りませんでした。

ヤマレコという登山アプリに大阪50山として紹介されていて3年前に訪れたのが最初です。

近くてお手軽な山 なんとなく気に入り それから通うようになりました。

それで気づいたのが 整備された道、動植物のことが詳しく書かれた看板、そして作業小屋に集まる人たち ここは、他とは違う？ あの方たちは何をしているのか？

神於山に来る度に不思議に思っていたところ たまたま登山口で見かけた講座案内。

「へえ～こんな活動をされてるのか～」

私が子供のころ住んでいた和泉市には、フクロウや野ウサギはいましたが開発が進み今はいません。車が多く通る外環横の標高296m神於山、ここもそうだと思ってたんですが、9月にミツバチの巣箱の横で跳ねてる野ウサギを見てびっくり！ めっちゃ感動しました。

この山にある自然環境がこれからも続いて欲しいと願ってます。

それが「神於山保全くらぶ」さんではそれができるかとも思い入会しました。

口数の少ない還暦オヤジ、よく怒っているように見られますが、そうじゃないので気軽にお声がけしてください。

よろしく願いいたします。

～事務局だより～

☆ 2024年度会費について

2024年度は4月から始まります。2024年度会費は**4月以降**に納入をお願いします。

会費は、正会員2,000円、家族会員お一人につき500円、個人賛助会員2,000円、団体賛助会員1口10,000円です。

4月以降の活動時や5月末開催予定の総会時にお支払いいただくか、ゆうちょ銀行か池田泉州銀行の口座に振込をお願いします。

6月末時点で納入が確認できていない方には、7月号おたよりで、振込先の案内と、ゆうちょ銀行の振込用紙を送付します。よろしく願いいたします。（担当 上林）

活動の記録(1・2月)

1月

6日(土)	丸紅の森	19名
9日(火)	植物・鳥チーム	6名
10日(水)	水辺チーム	4名
11日(水)	運営会議	14名
12日(金)	丘陵アドプト・カナエ	3名
13日(土)	桜台子ども工作⑨ クワ・ムサビチーム	8名 5名
14日(日)	定例活動日	49名
15日(月)	クラフト勉強会	11名
16日(火)	植物・鳥チーム	10名
17日(水)	定例活動日	8名
20日(土)	丘陵の森 炭焼きチーム	2名 4名
25日(木)	HP改編委員会	4名
26日(金)	丘陵アドプト・カナエ	6名
27日(土)	定例活動日 炭焼きチーム(～1/29)	40名 5名
28日(日)	里山えんぴつサポート	1名
30日(火)	自然観察会 姉妹都市交流打合せ	8名 1名

2月

3日(土)	丸紅の森	17名
6日(火)	植物・鳥チーム	6名
8日(木)	運営会議	13名
9日(金)	丘陵アドプト・カナエ	5名
10日(土)	桜台子ども工作⑩ クワ・ムサビチーム	9名 4名
11日(日)	定例活動日	40名
13日(火)	植物・鳥チーム	
14日(水)	水辺チーム	4名
16日(金)	住友CSRヒアリング 市環境確認立ち合い	2名 1名
17日(土)	丘陵の森 丘陵アドプト・アストラベ初	4名 2名
18日(日)	神於山ハイキング⑫	26名
19日(月)	クラフト勉強会	15名
21日(水)	定例活動日 まち協環境部会	3名 2名
22日(木)	HP改編委員会	4名
24日(土)	定例活動日	35名
25日(日)	マッチングマーケット	4名
27日(火)	植物・鳥チーム	7名+1
28日(水)	神於山保全活用推進協議会	2名